

# うみ

議会  
だより

2017.5.15  
No.65

福岡県宇美町議会



## ピカピカの 新入園・入学

平成29年度一般会計当初予算 前年度比 2.6% 減	②
一般質問 町政を問う8人が登壇	⑧
常任委員会報告	⑩⑩

3月  
定例会

# 平成29年度一般会計予算を可決 総額108億5,197万円

(賛成11:反対1で可決)

3月定例会は、6日から23日まで18日間の会期で開きました。新年度にあたっての町長の施策方針が示され、それに基づく一般会計当初予算をはじめとする24議案が提出されました。平成29年度の予算(一般会計・特別会計)及び条例について特別委員会で慎重に審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。一般質問には8議員11項目の質問があり、議員提出議案1件を審議しました。

一般会計  
予算

前年度比  
2.6%  
減

(単位：万円未満四捨五入)		一般会計予算 (単位：万円未満四捨五入)		前年度比
額	前年度比			
8万円	15.1%	自主財源 41.3%	町 税 34億8,049万円	1.4%
4万円	2.0%		その他 10億0,043万円	▲22.5%
5万円	1.7%		合 計 44億8,092万円	▲ 5.1%
4万円	26.6%	依存財源 58.7%	地方交付税 24億0,796万円	▲ 4.9%
0万円	▲ 4.3%		国県支出金 24億4,294万円	16.2%
6万円	▲20.7%		町 債 7億3,040万円	▲27.7%
			その他 7億8,975万円	1.2%
			合 計 63億7,105万円	▲ 0.8%
		歳入合計	108億5,197万円	▲ 2.6%

## 平成29年度の主な取組

### 平成29年度予算の特徴

- ① 前年度当初予算比約2.6%減  
(▲2億9,440万円)
- ② 第6次総合計画の後期実践計画の策定
- ③ 町制施行100周年に向けた取組

### 平成29年度の主な事業

- 新規** 平成29年4月1日から自治会へ「行政区」から新たな「自治会」となり、コミュニティ運営協議会、自治会、行政との連携で広域的な取組を展開。
- 新規** 平成32年の町制施行100周年記念事業  
100周年記念事業を推進するため「町制施行100周年事業推進事務局」を設置。
- 新規** 子育て支援センター「ゆうゆう」を健康福祉センター「うみハピネス」に移設  
子育て支援拠点として各種子育て支援事業の充実を図る。
- 新規** 都市計画道路光正寺井野線の供用開始  
平成14年度に事業認可を取得後、15年にわたり整備、平成29年3月30日に開通。
- 継続** 平成29年4月から新たな路線で福祉巡回バス(ハピネス号)運行  
21箇所 of バス停留所の新設、移設を行い、日曜日の運行及び県民の森まで路線延長。
- 継続** 春の臨時福祉給付金給付事業  
平成28年度分の住民税非課税者に対し、今回は1人当たり15,000円を支給。
- 継続** 「健康診査とがん検診」及び「健診結果説明会と保健指導」  
各地区で実施している健康セミナーを通して健診等の周知と受診勧奨を行う。



平成29年度の特別会計予算額		
会計名		予算
後期高齢者医療特別会計		4億3,27
国民健康保険特別会計		53億0,20
上水道事業会計	収益的支出	6億9,56
	資本的支出	3億7,37
流域関連公共 下水道事業会計	収益的支出	8億8,58
	資本的支出	9億3,31

## 当初予算審査 特別委員会

# 平成29年度予算を 徹底審査

当初予算については、議長を除く、議員全員による当初予算審査特別委員会を設置、活発な質疑を行いました。

主な質疑内容を要約してお知らせします。

### 一般会計

#### 自治会合併補助金

**問** 合併に伴う自治公民館の解体費用の助成を。

**答** 公民館類似施設の維持管理等は各自治会の状況によって取扱いが異なり、総合的に検討する。

#### 地域コミュニティ交付金

**問** 交付金の算定基礎は。

**答** 平成28年度の自治会運営補助金と区長報酬の合算額。青少年指導員の業務移管分として、各校区15万円

を加算して総額5,740万円を交付。

#### 町制100周年推進事業

**問** 宮崎県都農町の事例を参考に推進しては。

**答** 町の規模で100周年を迎える例が少なく、イベント行事や情報等共有したい。

#### 町長公用車リース解約

**問** リース契約期間中になぜ解約するのか。

**答** 経費節減を図るために解約。

#### 庁舎南別館の雨漏り修繕

**問** 庁舎の維持管理は。

**答** 10年くらい雨漏りが続いているが、緊急性の高いものから対応している。

#### 子どもを見守る地域ネットワーク機能強化事業

**問** 相談件数と虐待の把握は。

**答** 子育て世代の自宅へ訪問、月に30件程度の相談件数、気になるお子さんは1、2件。

#### 観光大使事業費

**問** 新設の観光大使の目途は。

**答** この事業は宇美町総合戦略の基本施策に沿って実施。プロ野球日本ハムファイターズの中島卓也選手への委嘱を視野に協議。

#### プレミアム商品券発行

**問** 売れ行きが良く短期で販売終了した要因は。

**答** 昨年は7月19日販売開始で23日に完売、数年来の継続事業で住民に浸透している。

#### 一本松公園基盤整備調査業務委託

**問** 国から交付される補助金申請は。

**答** 27年度に策定された第6次総合計画、都市計画マスタープランに基づき、一本松公園の利活用で観光振興を図るため、官民連携基盤整備補助金を申請する。

#### 宇美小学校トイレ改修

**問** 実施設計の内容は。

**答** 校舎の各階の児童用と職員用トイレの改修、多目的トイレの設置等の実施設計を29年度。

#### 30年度の夏休みに工事予定

**問** 社会教育施設等の窓口業務委託

**問** 委託内容は。

**答** 毎年同じ業務内容で、今回からは民間に委託。

(賛成10…反対1で  
可決すべきものと決定)

### 本会議 反対討論

鳴海圭矢議員

職員が地域手当が切下げになってきているが、今、経済を復興させるために、いかんとして消費を伸ばすが問われる中、これは職員だけの問題ではなく、地域経済に与える影響を危惧するものである。

### 賛成討論

飛賀責夫議員

職員の地域手当の引下げ、民生委員退職者記念品の減額など、思うところはありますが全体的には評価できる。行財政改革に伴う事務事業の大幅な見直しは、身を切る思いで歳出額の削減に努めているが、非常に厳しい財政であっても、住民の要望には丁寧に対応して頂きたい。

南里正秀議員

今後5年間の財政見直しを踏まえた財政改革推進プランを策定。事務事業の見直し、人件費の抑制など、3億円の歳出削減目標を反映した厳しい財政状況の中でも「選択と集中」を念頭において予算が編成されている。

## 後期高齢者医療会計

対象者の推移は。

### 問

29年1月末の75歳以上の被保険者は、5年前と比較すると527人増、15.7%の増。

### 答

29年1月末の75歳以上の被保険者は、5年前と比較すると527人増、15.7%の増。

### 問

保険料軽減特例の段階的廃止の影響は。

### 答

被扶養者均等割9割軽減を受けた11.2%、1万1千円程度増額。

(賛成10・反対1で)

可決すべきものと決定)

本会議

### 反対討論

鳴海圭矢議員

保険料の所得割、均等割の軽減措置が縮小され、高齢者の負担が重くなる。制度の廃止を訴える。

### 賛成討論

飛賀貴夫議員

医療保険制度を支えるため、給付と負担のバランスが必要、一定の負担はやむを得ない。

## 国民健康保険会計

福岡県広域化で保険料の算定は。

### 問

税率を試算し、今後協議される。

### 答

税率を試算し、今後協議される。

(賛成10・反対1で)

可決すべきものと決定)

本会議

### 反対討論

鳴海圭矢議員

高額療養費制度の70歳以上の負担上限額が上がる。被保険者への負担ではなく、国庫負担の割合の引き上げを求める。

### 賛成討論

飛賀貴夫議員

制度持続のため、平成30年度から国保財政運営の都道府県化や財政支援の強化。低所得者へ一定の配慮も行われている。

## 上水道事業会計

アセットマネジメントはどう反映しているか。

### 問

本年度は反映していない。運用に当たっては2年ほどかかる見込み。

### 答

本年度は反映していない。運用に当たっては2年ほどかかる見込み。

(賛成10・反対1で)

可決すべきものと決定)

本会議

### 反対討論

鳴海圭矢議員

昨年度の値上げの影響は大きいと言わざるを得ない。過大な見積もりをした水道企業団との契約の見直しが一番にやるべきことである。

### 賛成討論

飛賀貴夫議員

過去5年赤字経営、平成29年1月分から料金改定(平均改定率15%)、経営の安定化を図ったものと理解。

※アセットマネジメントとは、長期的視野に立った計画的資産管理。

## 公共下水道事業会計

下水道の整備率は。

### 問

今年度、80.8%の整備となる。

### 答

今年度、80.8%の整備となる。

(賛成10・反対1で)

可決すべきものと決定)

本会議

### 反対討論

鳴海圭矢議員

生活保護受給者に対する減免がなくなったが、困窮した世帯に対しては便宜を図るべきである。

### 賛成討論

飛賀貴夫議員

公平な負担を原則とし、近年の災害時にはライフラインの重要性が増している。

## 今年度の目玉 ピックアップ



昭和町町営住宅建設イメージ



建設中の(仮称)めばえ保育園



子育て支援拠点をうみヒビノに  
子育て支援センター(ゆうゆう)

# 条例審査特別委員会

条例については、議長を除く、議員全員による条例審査特別委員会を設置、活発な質疑を行いました。  
主な質疑内容を要約してお知らせします。

## 町税条例及び町税条例等の一部を改正する条例の一部改正

法人町民税の法人割の税率を12.1%から8.4%に変更し、平成31年10月1日から施行。また、軽自動車税のグリーン化特例による軽減措置を1年間延長。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町地域コミュニティ推進条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

平成29年4月1日から関係条例に規定されている行政区等の文言を自治会等に改めるもの。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町職員の給与に関する条例の一部改正

職員の給与の適正化を図るため、地域手当の支給率を国家公務員の支給率に準拠、現行の支給率5%を3%にする。  
(賛成6・反対5で可決すべきものと決定)

### 本会議 反対討論

脇田義政議員  
鳴海圭矢議員  
町政を進めるうえで職員  
の信頼と士気の高揚が大  
切。地域手当は生活給で激  
変緩和措置等が必要ではな  
いか。

## 宇美町職員等の旅費に関する条例等の一部改正

職員の旅費の適正化を図るため、旅費の種類、支給額、支給方法を見直す。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の旅費の見直しと出勤手当の支給対象と金額を見直す。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町課設置条例の一部改正

町制施行100周年記念事業を推進する専任の事務局を設置、建設課と都市計画課を統合し、建設・都市計画課とするもの。  
(賛成9・反対2で可決すべきものと決定)

### 反対討論

飛賀貢夫議員  
機構改革をして2年もた  
たない中で、分割した課を  
再度統合することに反対。  
課の中に室を作って対応す  
べきだ。

### 賛成討論

脇田義政議員  
現行の17課2局を増減す  
ることなく、専任の課・局  
を設けて機能的、効率的に  
業務にあたる方がよい。

## 宇美町企業立地及び住宅団地の開発促進条例

町の産業振興、雇用拡大、人口増加を図るため、企業等の立地及び住宅団地開発を促進するための施策を定める。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町庁舎建設等基金条例

宇美町役場庁舎等の公共施設の建設等に必要資金を積み立てるための基金を設置。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 宇美町町制施行100周年記念事業基金条例

町制施行100周年記念事業の資金を積み立てるための基金を設置。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)



町制施行 100 周年

## 町道路線の変更

光正寺井野線道路改築による路線名、起点、終点の変更。外2路線の起点、終点の変更。  
(全員賛成で可決)



光正寺井野線

### 同意選任

宇美町監査委員

平島 忠雄 氏 (再任)

### 候補者を推薦

人権擁護委員

薬師寺眞理子氏 (新任)

## 本会議 表決一覧

# 審議した議案と各議員の賛否 (平成29年)

○は賛成 ×は反対を表しています

	議員名 議案名	時 任 裕 史	黒 川 悟	南 里 正 秀	脇 田 義 政	小 林 征 男	飛 賀 貴 夫	鳴 海 圭 矢	藤 野 堯 嗣	犬 塚 齊	古 賀 ひろ 子	松 下 弘 毅	藤 木 匠	審 議 結 果	討 論
3 月 定 例 会	宇美町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	可決	反対：脇田議員、鳴海議員
	平成29年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成29年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成29年度 宇美町上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成29年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員
	平成29年度 宇美町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	反対：鳴海議員 賛成：飛賀議員、南里議員

※白水英至議長に表決権はありません

## 全会一致で可決した議案

	議 案 名
3 月 定 例 会	町道路線の変更・・・宇美2号線、宇美～田富線、炭焼～四時田線の起点及び終点の変更
	町税条例等の改正・・・軽自動車税のグリーン化特例の1年延長に係る経過措置等の規定の整備
	宇美町地域コミュニティ推進条例施行に伴う関係条例の整備・・・「行政区」を「自治会」に改正する等名称の変更
	宇美町職員等の旅費に関する条例等の一部改正・・・旅費の種類並びに支給額、支給方法の見直し
	宇美町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正・・・費用弁償の額及び支給方法の見直し
	宇美町課設置条例の一部改正・・・町制施行100周年事業推進事務局設置、都市計画課と建設課の統合
	宇美町企業立地及び住宅団地の開発促進条例の制定・・・宇美町の産業振興、雇用機会拡大等を図るため、企業及び用地提供者に対する奨励措置
	宇美町町制施行100周年記念事業基金条例の制定・・・100周年記念事業の資金を積み立てるため、基金を設置
	宇美町庁舎建設等基金条例の制定・・・宇美町役場本庁舎等公共施設の建設等に必要資金を積み立てるため、基金を設置
	宇美町社会福祉協議会の助成に関する条例の制定・・・社会福祉協議会の運営を支援するため、助成に関する制度を整備
	宇美町都市計画審議会条例の一部改正・・・都市計画審議会事務局を建設・都市計画課に変更
	平成28年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)・・・減額補正:591千円
	平成28年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)・・・減額補正:36,565千円
	平成28年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第3号)
平成28年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3号)	
平成28年度 宇美町一般会計補正予算(第4号)・・・減額補正:108,625千円	

# 図書返却ポストの増設を

## 答 役場、ハピネスに設置を検討



南里 正秀 議員

**問** 平成19年度文部科学省の「子ども読書の街」に指定され、同年度開館した町立図書館を中心とした読書活動が推進されている。貸出数の推移は。

**答** 社会教育課長 28年11月から貸出数を10冊から15冊に拡大する等の利便性の向上を図った結果、貸出率がアップしている。

**問** 誰もが等しく図書館サービスを受けられる取組は。

**答** 課長 町立保育園への配本、園内での活用や保護者への貸出を実施。

また、地域文庫支援事業として、老人福祉センター、コミュニティ運営協議会、公民館などに団体貸出を行なっており、今後も増やしていく。

**問** 図書の宅配サービスや移動図書館を導入している自治体もあるが。

**答** 課長 財政面からも新たな経費負担は厳しい状況。

**問** 本の返却ポストを増設すると利便性が向上するのでは。

**答** 課長 返却の督促数が減る効果も期待できるため、役場やハピネスへの増設を検討したい。

**問** 「第2次子ども読書活動推進計画」の課題は。

**答** 課長 学校、保育所の読書活動が伸びている反面、家庭や地域での活動が停滞している。

**問** 学校図書館の蔵書は十分か。

**答** 学校教育課長 学校図書標準を平均約45%上回っている。

**問** 学校図書館を地域に開放する考えは。

**答** 課長 古賀市など

先進自治体の事例を参考に研究したい。

**問** 在宅高齢者と子どもたちの交流を目的とした「学校図書宅配サービス」を学校や子どもにも無理のない範囲で実施できないか。

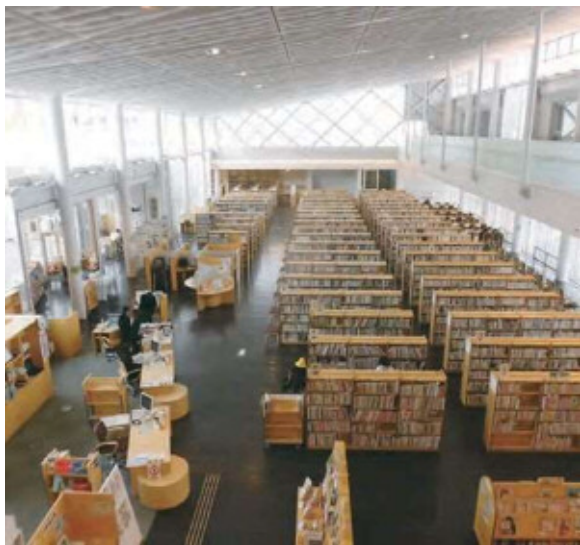
**答** 教育長 近所のお年寄り子どもたちの絆が深まる大切な取組だが、安全確保のため難しい。

**問** 宇美町出身の作家山口幸三郎氏原作のドラマが放映されている。

山口氏をはじめ宇美町出身の著名人を応援し、PRしていけば、ご本人達の励みにもなり、町のイメージアップや地域の活性化につながるのでは。

**答** 町長 山口氏のみならず、プロ野球界、陸上競技、スケート競技等当町出身の方々に応援していきたい。

また、29年度は著名人を対象とした観光大使事業も始め、町制100周年に向けての契機としたい。



開館10周年の町立図書館





藤木 匠 議員

## 2町(宇美・志免)の合併は

**答** 将来的には可能性がある

**問** 過去に糟屋南部3町(宇美・志免・須恵)、中南部6町(宇美・志免・須恵・粕屋・篠栗・久山)の合併が協議されたが、実現できなかった経緯は。

**答** 政策経営課長 南部3町では、平成15年に合併問題任意協議会が設立され、シンポジウムや住民説明会も開催された。

最終的には糟屋中部との枠組みも考慮する必要がありとの意見が出され、法定協議会の設置を断念。

その後、福岡県市町村合併推進構想に基づき、中南部6町の合併について協議が行われた。

最終的には、各町議会で合併協議会設置議案の採決が行われ、4町が可決、2町が否決。否決2町の再提案がなされなかったため白紙の状況となっている。

**問** 宇美町と志免町は、宇美川の上流、下流域といった関係以外にも古くから密接な関係がある。

**答** 町長 宇美町と志免町の合併については、将来的には可能性が十分あるものの、現時点では非常に困難と思っている。

平成32年10月町制施行100周年に向けての歴史や文化、自然環境を生かした取組、29年4月から始まる校区コミュニティを核とした持続可能な地域を形成する施策推進などの充実を図ることが、先行する課題。

将来を見据え、住民へ都市部から自然豊かな山間部まで幅広い住環境を提供して、住みよいまち、住んでよかったと言われるまちづくりが必要では。

**問** リサイクルセンターやし尿処理など両町が共同で実施している事業もあり、合併により住民サービスが向上するなどメリットも多い。

**答** 町長 20年30年後の社会情勢は予測できないが、将来的には可能性が十分あるものの、現時点では非常に困難と

思っている。

ないが、両町とも非常に長い歴史を有する自治体であり、結びつきも非常に強固なところがある。

地域コミュニティの形成、100周年事業を町として完成させた後、2町の合併も取り上げる課題だと考えている。

議会や町民の皆様の見解等も十分参酌しながら、今後取り組んでいきたい。



井野山から望む宇美川

# 今後のごみ処理行政 の考えは



飛賀 貴夫 議員

**答** 十分に精査し一定の方向性を導く

**問** 大牟田リサイクル発電事業が平成34年度末に終了が決定。

当町が、可燃ごみ処理を委託している「クリーンパークわかすぎ」は施設稼働を10年間延長する方針を打ち出し、当町も、これに従う方針。

「クリーンパークわかすぎ」は平成29年度で15年が経過し、今後10年間延長するための施設改修費が、高額になるのでは。

**答** 環境課長 平成28年度の修繕費は約1億3,600万円。29年度予算は約1億4,100万円。29年度から39年度まで11年間で、約10億円を超える修繕費が試算される。

**問** 非組合員の当町は、改修費の負担を強いられるが、改修内容の確認や工事費の妥当性などについて、意見を述べる事ができるのか。

**答** 課長 須恵町外二ヶ町清掃施設組合と宇美町、志免町を継続していく場合、議会は3町で行われ、それと併せ5町の協議会が設けられている。

その中で、できる限り意見を述べ話し合いで合意して事業を進めたい。

**問** 全国的に見て今後RDF事業の見通しは。

**答** 課長 全国的にも福岡県と同様に、老朽化した施設の維持管理費等を理由とし、事業継続は非常に厳しい状況になっている。

**問** 当町に新たなごみ処理場を建設する事で、その焼却から得られる熱エネルギーを地域に還元することが可能になる。

民間活力の導入で、ごみ処理施設や熱還元施設では新たな雇用を生み、若者定住や高齢者移住につながる。さらに、様々なアイ

デアで新たな産業を創出する事が可能である。若者の農業参入支援を行い、温室栽培で宇美町の特産物の創生開発につながるが、まちの活性化になるものと確信できる事業であると思う。

クリーンパークわかすぎに年間3億円以上の委託費を払い続ける事が良いのか、新たな施設を建設して委託費や維持管理費を削減し、直接住民サービスに繋がる部分を再検討しては。

町長の適切な政治判断が求められている時期であると考えているが。

**答** 町長 町の財政状況を考えると、多額の財政出動を要する事業運営形態については、非常に困難である。

スケールメリットを生かした事業を推進して行く事が基本である。今後、平成35年以降の運営等については、十分に精査を議会と協議をしながら、一定の方向性を導き出したい。



クリーンパークわかすぎ



# 待機児童解消を

## 答 保育支援に努める

古賀 ひろ子 議員

**問** 宇美町における保育所等の整備の現状について、また、新年度の入所予定児童数及び待機児童数は。

**答** 子育て支援課長  
平成27年度から、保育所等の整備を図り、総数144人の定員増、合計828人の定員となった。

入所予定数は、在園児564人、新園児156人、合計720人。

待機児童数は66人で、0歳児9人、1歳児25人、2歳児16人、4歳児2人、その他求職活動中の待機となっている。

町立保育園では、保育士16名不足している状況。

**問** 糟屋地域の近隣町の待機児童数、また、広域的保育所等利用事業の推進も必要だと思いが見解は。

**答** 課長 粕屋町200人、志免町・須恵町100人程度の待機児童。

企業型保育事業は、志免町で3園開設予定、宇美町には該当する事業所はない。

**問** 今後の保育所等の定員計画は。

**答** 課長 現在の定員828人を平成31年度には、860人に定員を確保する計画。

平成29年中に井野地域で開園予定の認可保育所定員40人。

待機児童解消加速化プランの最終年度に合わせ、50人、19人規模の定員予定で計画、今後、待機児童の解消が見込まれる。

**問** 町立保育園は改修時期がきていると思うが今後の展望は。

**答** 課長 保育園の老朽化の問題は、更新の時期が来ているが段階的に、民間活力等も導入しながら改修を進めていく。

**問** 保育士の処遇改善、保育コンシェルジュの取組は。

**答** 課長 保育士の処遇改善をこれから

も、前向きに検討していく。  
保育コンシェルジュは、国の利用者支援事業で専門の相談員を新たに配置し、子育て相談や保育ニーズに対応していく。

◆宇美町版ネウボラ（助言の場）の充実を

平成29年4月現在		入所予定数	
保育園名	定員	入所数	
町立	4保育園合計	510	443
私立	宇美八幡宮	90	98
	宇美タンポポ	120	104
認定こども園	空とぶくじら幼児園	54	38
	ファミーズ ENGLISH スクール	30	6
小規模保育所	どれみ乳幼児園	19	14
家庭的保育所	四王寺坂ひかり乳幼児園	5	5
総合計		828	708
平成27年度から整備した定員		144	

# 安定的な水の供給を

## 答 アセットマネジメントに基づき取り組む



黒川 悟 議員

**問** 水道事業の現状と将来の見通しについて、施設の適切な資産管理を推進する上で、欠かすことのできない水道台帳の整備は。

**答** 上下水道課長 浄水場施設等の図面や、写真等は、永久保存している。

管路施設は、全て電線化され、事務所内の端末で確認でき、随時更新も行っている。

**問** 今後、施設等の老朽化が懸念される。

全国的な管路更新率は、0.76%で、このままでは130年かかる見通しだが、当町の更新率は。

**答** 課長 過去5年の平均では0.5%であり、都市計画道路等の拡張工事に合わせ、基幹管路の新規布設が多かったため、更新率が低下している。

例年行っている管路工事については、0.9から1%の更新率になる。

**問** 熊本地震で、管路の耐震性が表面化したのが、今後当町ではどのように進めて行くのか。

**答** 課長 平成18年から75ミリ以上は、ダクタイル鋼鉄管を採用し、配水管を含む全ての管路に、耐震適合性のあるものを使用している。

28年からは、50ミリの配水管は、ポリエチレン管を採用して、ライフサイクルコストの低減を図っている。

**問** 当町のアセットマネジメントの概要は。

**答** 課長 資産管理の運用面で経済的な収益性やコスト低減を目的としている。効果としては、問題箇所の早期

発見、ライフサイクルコストの低減、住民のニーズに応えた良質で、安定的な水の供給が主な目的となっている。

**問** 今後の水道事業に対し、広域化を含めた方向性を見通しは。

**答** 課長 平成28年3月から福岡都市圏の水道のあり方検討会が開

催され、広域化と施設の共同利用、水の融通等が議題になっている。29年度は、企業が施設の有効利用や共同化を図るための検討会を行う。

※ライフサイクルコストとは、構造物の計画、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる経費のこと。



原の前配水池



藤野 莞嗣 議員

# 人口増加の取組を

## 答 子育て支援に努める

**問** 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計で宇美町は、33年後には3万人を割り込み、人口減少し続けると推計されている。5年間の住基人口、国勢調査の人口動態の推移は。

**答** 住民課長 住基基本台帳の基準日は4月1日（下表に掲載）。

**答** 政策経営課長 国勢調査の基準日は10月1日で宇美町に居住している人口、平成22年は38,592人、平成27年は37,927人で比較すると665人減少。

**問** 人口は減少しているが、世帯数は増加。その要因と子育て世帯の推移は。

**答** 住民課長 人口が年々減少している一方、多人数世帯から一部のみ転出、世帯は現状と変わらない。

過去5年間の年齢段階別の増減率は、0歳から19歳は2.8%の減少、20歳から64歳は10.4%の減少、65歳以上は28.8%の増加。

**問** 若い世代の減少が出生児の減少の大きな要因の一つと思う。

宇美町総合戦略の子育てしやすい環境をつくるために婚活支援はどこまで進んでいるか。

**答** 子育て支援課長 平成26年に宇美町社会福祉協議会主催で見合いパーティーを開催、男女32名参加、翌年は参加者が少なく中止。

福岡県では、出会い・結婚応援事業を民間に委託、登録人数は5,579名、これまで成婚は365組。

町単独ではなく、県の事業に合わせる。

**問** 子どもの通院、入院治療費の経済的負担の軽減の現状は。

**答** 住民課長 3歳未満は通院も入院も全額無料。

所得制限を設けず、自己負担額は、3歳から小学校就学前までは通院が月800円、入院が月3,500円。

小学生は通院が月1,200円、入院が月3,500円、中学生は入院のみで月3,500円。

**問** 子育て支援と町有地の活用で人口減少に歯止めをかける方策に期待したいが見解はどうか。

**答** 町長 子育て世代に対する支援、宇美町の人口増加、発展のために重要なポイントであると認識し、町有地の有効活用や運用を図っていく。

◆その他の質問  
町有地の有効活用を

住民基本台帳人口(人)	前年度比	0歳児(人)
平成24年		356
平成25年	0.6%減	332
平成26年	0.3%減	316
平成27年	0.4%減	306
平成28年	0.7%減	316

# 宇美町のエネルギーを地産地消に

## 答 調査、検討する



時任 裕史 議員

**問** 近年、林地残材や間伐材等を燃料とする発電所を建設し、地方創生を成功させた自治体がある。

**答** 宇美町では、剪定樹木700トンの処理に、運搬コストを含め、年間約840万円をかけている。

剪定樹木の処理を今後も現行どおり行うのか、町のエネルギー資源として地産地消するのか。

**答** 環境課長 現在、剪定樹木等はリサイクル処理業者に委託してチップ化し、燃料化及び木材製品としてリサイクルしている。

町としては現在の処理方式を継続したい。

**問** 町では、毎年1,200トンの切捨て間伐を行っている。

搬出すれば、エネルギー源や建築用材にも

なり、町の財源になる可能性もある。  
**問** 間伐材の搬出コストは。

**答** 農林振興課長 場所によっても変動するが、平成28年度の実績は、伐採搬出費1㎡当たり6千円、運賃1㎡当たり1,800円、これに消費税を含めた金額が搬出費用となっている。

**問** 町にはエネルギーとなる資源、特に森林資源が豊富にある。

その資源を有効活用すれば、エネルギーの地産地消が可能ではないか。

また、地方創生にも繋がるのではないか。

**答** 環境課長 現在、第6次総合計画に基づき、ごみのリサイクルを進めている。

可燃ごみはクリーンパークわかすぎで固形

燃料化し、資源ごみは宇美・志免リサイクルセンターでリサイクルしている。

**問** 町で電力事業を行うことは可能か、電源となる資源の保有量は。また、木質バイオマス事業は可能か。

調査研究が必要と思われるが。

**答** 課長 国の補助事業等も含め、事前調査

する必要がある。

**問** 本年4月から電力が自由化となる。契約する電力会社は。また、電気料金はどの位安くなるのか。

**答** 財産活用課長 契約は新年度になってから締結するため未定。電気料金は年間、2,300万円位安くなるかと推測している。



宇美町の森林



鳴海 圭矢 議員

# 子ども・子育て支援の拡充

## 答 現状把握のうえで検討

**問** 子どもと貧困をめぐる状況は深刻なものがある。

**答** 国が要保護世帯の就学援助の支給基準を引き上げるといつているが、その内容と当町では対象となる世帯はどれくらいか。

**答** 学校教育課長 小学校では現在20,470円支給を40,600円へ、中学校では23,550円を47,400円へと引き上げる。

来年度入学する小学生のうち、およそ19%、73名、中学生では22%、85名が対象となる。

**問** 学校給食を無償化する自治体が増えていく。当町の学校給食の保護者負担と利用実績は。

**答** 課長 小学校では1食あたり260円。年額で47,320円。

中学校では選択制の弁当給食を行っており、こちらも1食260円。牛乳代50円を加算して年間の負担額は56,420円。喫食率は61.8%。

**問** 無償化した場合の町の予算は。

**答** 課長 小学校1億879万円、中学校5,918万円合わせて約1億6,800万円の予算がかかる。

**問** 学校給食無償化への考えは。

**答** 課長 現在の町財政では極めて厳しいと判断する。

**問** 学童保育について県が低所得世帯を対象に無料化の考えを示しているが、詳しい内容と当町の学童保育利用実績は。

**答** 子育て支援課長

平成29年度から福岡県において生活保護世帯に対する放課後児童クラブの利用料減免事業が始められる。

生活保護世帯については飲食物を除く上限が5千円、市村民税非課税世帯については減免率として50%までが上限となる。

利用実績は29年4月の見込みでは全体では431名、昨年は395名で30名の増。

**問** 宇美町の将来を思えば、今、思い切つて

子育て支援に対して予算を割いていくべきではないかと思うが町長の見解は。

**答** 町長 子どもの貧困対策をはじめ、子どもを取り巻く様々な問題への公費投入は、ある意味、先行投資だと思っている。

きめ細やかな現状把握を行ったうえで実効性のある方策を検討していきたい。

### その他の質問

◆防災・減災事業への取組



就学支援品等

# 総務建設常任委員会

- 委員長 藤野 莞嗣
- 副委員長 脇田 義政
- 委員 小林 征男
- 委員 藤木 匠
- 委員 黒川 悟
- 委員 鳴海 圭矢
- 委員 時任 裕史

## 農林振興課

## 宇美町食育・地産地消推進事業

家庭や地域における食育の推進などの5つの重要施策に対して、目標となる指標と具体的な取り組み、内容を定める。

この資料をもとに各年度の設定した指標が改善されるように毎年、前年の見直しを5月、中間見直しを11月に行う予定。

本計画は平成28年から32年までの5か年となっている。



かすやのお米を使ったおにぎりづくり

**問** 学校・保育園等における推進の中の安全性の確保は。

**答** 関係各課でプランに則り、安全なもの、特に地産地消を目指したものを、ただ取り入れていく。この中で学校教育、子育て支援課で検討して、それぞれの指標を出してもらおう。

## 建設課

### 福岡・太宰府線の進捗状況

原田上区日の丸バス停までの道路改良及び歩道設置が完了することとなっている。

太宰府までの約600mについても、本年度、只越口バス停付近の用地購入、法面部分の設計を実施。

来年度には用地測量、物件調査を経て、購入した用地の工事着手を検討している。

**問** 日の丸バス停から只越までの区間、完成までのくらいかかるか。

**答** 福岡県土整備事務所道路課では、まだ用地交渉が残っており、完成まで4、5年以上はかかると聞いている。



福岡太宰府線 原田上付近

## 上下水道課

### 料金改定後の水道使用水量

平成29年1月から水道使用料金の改定を行った。

戸数は増えているが、使用量は減っているという状況である。

**問** 使用料金が直すと、どのような状況か。

**答** 当初の給水収益見込みに対して1,200万円程度減収。

**問** 給水戸数は増えているが、使用水量は減少しているのは。

**答** 核家族化と節水機器の普及が主な要因。



試験混水中の五ヶ山ダム

## 前年度との比較増減

使用水量の単位：m<sup>3</sup>

	家事用		営業用		官公署用		一時用		合計	
	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量
1月	47	△ 394	15	△ 1,025	△ 1	△ 1,684	6	△ 2,399	67	△ 5,502
2月	36	△ 3,563	10	△ 2,187	0	△ 1,056	△ 4	△ 1,886	42	△ 8,692
計	83	△ 3,957	25	△ 3,212	△ 1	△ 2,740	2	△ 4,285	109	△ 14,194



# 厚生文教常任委員会

委員長 飛賀 貴夫  
副委員長 犬塚 齊  
委員 松下 弘毅  
委員 藤木 匠  
委員 南里 正秀  
委員 古賀ひろ子

なり、再度見直しを行う。

平成29年度の夏休み期間中に工事ができるように進める。

## 子育て支援事業

子育て支援課

## 児童保育事業

平成29年度の入所予定児童数は、対象児童をこれまでの3年生から6年生まで拡大。2月1日現在、431名で定員の500名に対して86.2%。

前年度との比較では、全体で30名の増だが待機児童はいない。

## 問

井野小学校児童保育所の計画は。

## 答

空き教室利用で試算したが、改修費が高額と



子育て支援課窓口

福祉課

## 敬老祝金の見直し

敬老祝金支給事業は、敬老の意を表し、高齢者の生きがいと福祉の増進に資することを目的に実施。

平成29年度から支給年齢77歳、88歳、99歳、100歳以上に祝金を支給。

金額は1万円に統一し、口座振替に変更。

## 問

対象年齢、金額、口座振替、なぜ見直しか。

対象年齢、金額を糟屋地区に合わせ、現金の取扱い事故を回避するため口座振替に見直した。

社会教育課

## 宇美町青少年指導員及び青少年指導員会の見直し

平成29年度からは校区コミュニティの活動が本格的に始まるため、青少年指導員会は、28年度をもって活動を終える。

29年度の青少年指導員は、

自治会長またはコミュニティ運営協議会会長名のいずれかを推薦。

町全体の活動は社会教育課で会議（研修）を主催、宇美八幡宮放生会の巡回。

報償費は個人に対して支給。30年度以降は教育委員会から青少年指導員の委嘱は行わない。

## 問

青少年指導員会にかわる連携組織が必要では。

平成29年度、この1年をかけ、横の連携ができる組織づくりを関係部署と進めていく。

学校教育課

## 特別支援教育の現状

障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、適切な指導を行う。

平成28年度就学先決定まで教育支援委員会を8回開催。

対象者は就学前児童27人、

在校生65人（判定結果と就学先が一致しない場合もある）

特別支援学級の児童生徒数は、28年度101人、29年度121人。

特別支援教育支援員を29年度は12名配置し、支援の充実を図る。

## 小中学校トイレの設置状況

文部科学省が平成28年11月に公立小中学校のトイレの設置状況を発表。

全国平均では洋便器率43.3%、和便器率56.7%。

福岡県平均の洋便器率48.9%に対し、宇美町は37.6%。

今後は、国の交付金を活用し、計画的に洋式化への改修を進める。29年度は宇美小学校の実施設計を行う。

# します なさんの声

議会として皆様から提案いただいた課題について現状と今後の取り組みについて慎重に審議しました。行政に提言すべきもの、議会で調査すべきものなどにまとめて、今後も議会だよりやホームページで結果をお知らせします。

## 課題

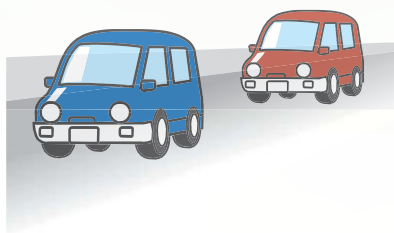
道路幅の狭い箇所(狭あい道路)が多いので改修してほしい。

## 現状

狭あい道路の改修は、現在、光正寺地区を整備。29年度の当初予算は、宇美二丁目等を計画されている。

## 取り組み

町民が安全、安心に暮らせる町になるように補助金(交付金)を活用した整備を要望していく。



## 課題

消防団と自主防災組織が連携し、防災訓練等を実施しては。

## 現状

- ・ 自主防災組織
  - ・ 4自治会設立
  - ・ 防災士資格取得
- |    |     |
|----|-----|
| 職員 | 13名 |
| 一般 | 12名 |

## 取り組み

地域コミュニティや自治会が防災訓練を実施できるような体制を推進する。

## 課題

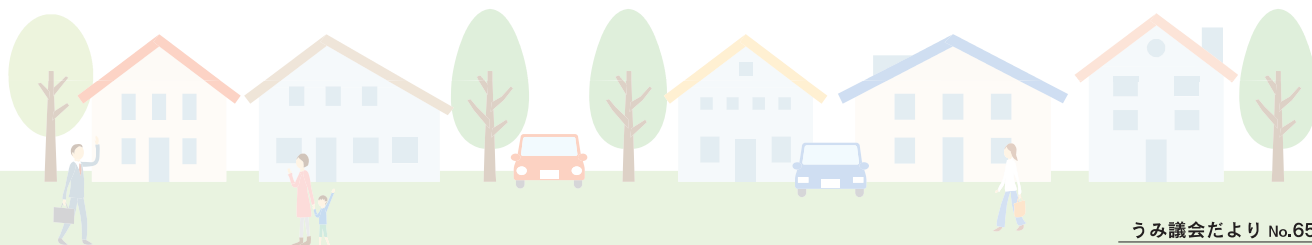
4月から自治会と校区コミュニティ運営協議会制度が始まる。今後、まちづくりに重要な役割を担っていくが、各団体等の連携と協力が必要ではないか。

## 現状

スタートしたばかりで足をしっかりと固めていくことが大切である。

## 取り組み

将来は地域の各種団体等が参加、連携する組織となるように議会としても努力したい。



# しっかり活かみ

## 第1回 「議会と語ろう会」 ～宇美町の将来～

開催/平成29年1月26日

### 課題

福祉巡回バス「ハピネス号」の運行改善を望む

#### 運行経費

平成29年度 3,670万円  
平成28年度 2,900万円



### 取り組み

平成29年度は、ダイヤ改正（路線、運休日、便数）、新バス停の設置、バス停の維持管理等の改善が行われる。バス運行基準改正の影響などで、契約額は前年度を上回っているが、利便性の向上が図られる。



ひばりが丘・貴船コース  
新バス停 県民の森



### 課題

敬老祝金の対象年齢を他町と一緒にしてはどうか

総人口に占める70歳以上の割合は約15.8%  
(平成29年4月1日現在)

### 現状

- ①平成28年度までは70歳・77歳・80歳・88歳・90歳・99歳・100歳以上を対象としていた。
- ②糟屋地区の志免・篠栗・久山・粕屋・古賀は70歳を対象年齢とはしていない。

### 取り組み

平成29年度	
対象年齢	77歳・88歳・99歳・100歳以上
支給額	一律10,000円
支給方法	口座振込

### 課題

防災行政無線が聞こえにくい

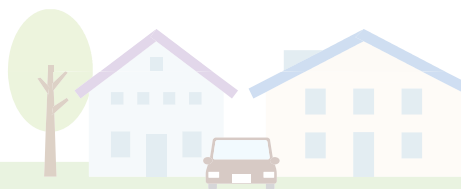
### 取り組み

アナログからデジタル化へ変更し聞こえやすくなった。

平成28年度  
4億900万円の整備費

防災行政無線設置数  
デジタル化85局  
(難聴地区8局増設)

聞き取りにくい時は、☎0120-898-255にお電話をしていただければ、放送内容が確認できます。



議会広報から

# インタビュー



## 東の里 宇美東小学校区コミュニティの取組

平成29年度に向けて

平成 28 年 6 月に発足した、宇美東小学校区（7自治会）コミュニティ運営協議会も 29 年 4 月から本格的にコミュニティ活動が始まります。役員会・準備委員会・運営協議会にたくさんの方に参画していただき、本当に感謝しています。「緑と水豊かな元気なまち 老いも若きもいきいき伸びる東の里」の実現を目指しています。住民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

平成 29 年 3 月 運営協議会会長 恒吉 紀一

平成 29 年 4 月 4 日宇美東小学校区コミュニティ運営協議会総会において代議員の皆様のご賛同をいただき感謝申し上げます。

相互扶助の精神で連帯感のある温かな地域社会を目指し、新しい自治会制度のもと校区コミュニティ活動を開始してまいります。



平成 29 年 4 月 新運営協議会会長 中岡 清美

### 活動内容は

- ◆広報部会 : より身近な出来事をタイムリーに広く広報するため、広報誌「東風（こち）だより」を発行（年2回）する。
- ◆防犯防災部会: 夜間パトロールなど青パトの運行及び消防第 1 分団、警察等と連携し実効性のある活動を推進する。

### 自治会活動の紹介



- ①とびたけ 1 自治会  
「作品発表」
- ②障子岳自治会（塔ノ尾公園）  
「クリスマスイルミネーション」
- ③宇美東自治会  
「餅つき大会」
- ④⑤障子岳自治会（今屋敷地区）  
「ほんげんぎょう」

## 議会からのお知らせ

### 議会を傍聴しませんか！

議会は年 4 回（3 月・6 月・9 月・12 月）に定例議会が開かれます。

役場 3 階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、6 月 9 日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会議務局（TEL092-934-2248）までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会議務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
黒川	飛賀	南里	脇田	鳴海	古賀	白
						水
						英
						至

【議会広報常任委員会】

【発行責任者】